

「杜の都環境プラン」に係る環境団体アンケート

1 調査の目的等

本調査は、「杜の都環境プラン」中間評価にあたり、本市の環境や施策について個別具体的な評価や意見を聴取するため、日頃から環境に関する活動に取り組む市民団体等 5 者に対し、郵送等により聴き取りを実施したものである。

2 主な意見

(1)低炭素都市づくり

〔現状について〕

- ・省エネルギーへの意識啓発や、緑のカーテン、太陽光発電の導入などが十分に進んでいない
- ・温暖化対策は市民に実感しにくく、環境配慮行動の定着への課題が多い

〔施策について〕

- ・太陽光発電よりも森林保全の観点からペレットストーブの普及拡大が必要
- ・再生可能エネルギーの利活用に向け推進組織が必要
- ・ダテバイクは良い取組である
- ・環境教育、普及活動については頑張っている
- ・市民がどれぐらい活動に取り組めているかが重要

(2)資源循環都市づくり

〔現状について〕

- ・市民への啓発やごみ分別については他都市に比べて優れている
- ・3R の促進に向けて、市民の意識をなお一層高めていく必要がある

〔施策について〕

- ・震災後のごみの増加や分別率の低下については、震災後の生活再建の過程ではやむを得ない
- ・ごみ処理施設の延命に向けたさらなるごみ減量等の推進が必要
- ・地域でのごみ分別の定着に向けたクリーン仙台推進員の活用、落葉のたい肥化の推進が必要

(3)自然共生都市づくり

〔現状について〕

- ・「杜の都」にもかかわらず身近な森林の整備保全が不十分である
- ・自然が軽視されているのではないか
- ・身近に緑が多く自然の恵みが実感できている
- ・七北田川クリーン作戦等により自然環境が改善されている

[施策について]

- ・絶滅危惧種の保全に向けた情報提供や自然を生かした観光振興、単なるイベントに終わらない継続的な取組が必要
- ・河川の水源の涵養や雨水利用の促進等に向けた施策の推進が必要

(4) 快適環境都市づくり

[現状について]

- ・ごみの散乱が減り環境美化が進展した
- ・河川や地下水の水質が不安だ
- ・中心部商店街の衰退により街並みが損なわれている

[施策について]

- ・天水桶や雨水浸透ます等の啓発普及について市民の関心は非常に高い
- ・景観形成の面から、地元の商店街を活かしたまちづくりが必要
- ・景観に配慮した街路樹の剪定が必要

(5) 良好な環境を支える仕組みづくり・人づくり

[現状について]

- ・107万の市民がいながら、環境に係わる活動に参加する市民は少ない

[施策について]

- ・市民が環境の現状を知るための広報啓発や、学んだことを通じて参加者が環境への配慮を実践できる取組が必要
- ・各団体の連携促進や市民センターの活用を期待する
- ・環境に関する取組を促進するためにインセンティブが必要
- ・市民団体を育てるため環境学習コーナーの拡充が必要
- ・「FEEL-Sendai」における環境教育・学習は良い取組である